

## 成瀬ダムは本当に必要ですか？

### ■ 成瀬ダムの概要

- 起業者 東北地方整備局
- 水系 雄物川水系成瀬川
- ダム型式 ロックフィルダム
- 堤高 113.5 m
- 堤頂長 690 m
- 堤体積 1195.8万m<sup>3</sup>
- 湛水面積 2.26km<sup>2</sup>
- 総貯水容量 7870万m<sup>3</sup>
- 水没家屋 0 戸
- 移転家屋 7 戸
- 総工事費 1530 億円

### ■ 着工に至るまでの経過

- 1960年代 成瀬川へダム建設を模索
- 1980年頃 地元の「要望」強まる
- 1981年 東成瀬村、建設を要望
- 1996年 ダム審「成瀬ダムは妥当」
- 1999年 秋田県知事、承認
- 2001年 ダム基本計画公示
- 2001年 工事用道路建設
- 2003年 付替道路建設着手

報告者: 奥州光吉 成瀬の水とダムを考える会 会員  
〒019-0513 秋田県横手市十文字町植田字一ツ屋71  
電話: 0182-44-5137

1

## 成瀬ダムの目的は妥当か？-1

- 成瀬ダムの目的 (多目的ダム)
- 治水・・・「150年に1回程度の大雨を想定」
- 集水面積が極めて小さい。同規模のダム・玉川仮川に比べてその面積は4分の1。
  - 主要な目的は「かんがい用水の供給！」
  - 用水路→1枚の田んぼ→排水路 水の「無駄づかい」構造
  - 水田→水田という小さな工事が大切。
  - 取水量約15m<sup>3</sup>/secアップ計画を、3m<sup>3</sup>足しだけで、末端まで水は届いた。50年来の地下水ポンプ使わなくて済んだ。
  - 3割減反のこの時代に2倍の水が何のため必要か？
  - 背景にはもうひとつ、農村経済の疲弊→崩壊の現状がある。

## 成瀬ダムの目的は妥当か？-2

- 日照りに不作為！・・・農家にとって、恐ろしいのは水不足ではなく日照不足
- 現状でも1.2倍程度の水で十分行き渡ることがわかってきた！
- 今ある皆瀬ダムを季節を通した有効使用で巨大ダムは無くても済む！
- 費用対効果(農水省)は1.09.
  - 総費用(成瀬ダム関連事業(国営「平鹿平野かんがい用排水事業」・同関連県営事業・特定多目的ダム建設事業予算の農業用水分)を含めて) 1556億円
  - 投資効果 1703億円
  - 投資効果には米価2万円程度で試算されたのではないか。
- 水道水もダムの水？・・・これまでどおり地下水保全・利用
  - 伏流水や地下水に依存し上手に利用してきた歴史
  - 水の需要は年々減少
  - 冬季間の水田涵養で地下水位改善

3

## 破壊される森林生態系

- 白神山地に匹敵するほどの森林生態系保護地域を食い破ってダム湛水域が設定された。
- 湛水域直近のクマタカの巣の運命？
  - 自然度が非常に高いところだけに多くの動植物が多様な生態系を形づくってきた。2001年には、その生態系の頂点に位置するクマタカの巣が湛水域からわずか数10mという所に発見された。
  - ところが、国土交通省は翌年、専門家の「イヌフシクマタカ委員会」なるものの「指導」のもとに巣から5mの隣の木にカメラを設置した。



4

## そのカメラが捕らえたペアのクマタカ 情報公開による画像



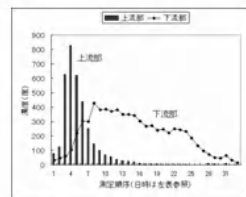
5

## ダムのない川・清流「成瀬川」



皆瀬川と成瀬川の合流点  
向う側がダムのある皆瀬川  
手前がダムのない成瀬川の水

流域住民(特にダムのできる東成瀬村の住民)が一番心配してきたことは、ふるさとの川が清流でなくなるのではないかと、いうことだ。  
となりの皆瀬川が濁りの川になってしまったことをよく見ているからだ。



皆瀬川の濁度 (ダムの下流ではなかなか濁度が下がらない)

## ダムに依存しない明るい農村を

- ◇ 1556億円という金が 地に落ちる。
- ◇ 地元はこのダム 特需の分補の合戦 → 合併拒否で独り占め これを「東成瀬村の自立」という。

ダムに頼らず、  
→ 自然の恵み、水循環を活かした  
明るい農村へ



7

## 工事のためのダム工事

### ■ 成瀬ダムの目的(多目的ダム)

目的	貯水容量 (万m <sup>3</sup> )
洪水を防ぐ	1900
農業用水の供給	2830
水道用水の供給	140
河川の正常な流量確保	2650
発電	

8